



日 監 第 6 1 号

平成22年(2010年)8月23日

日 野 市 長

馬 場 弘 融 様

日 野 市 監 査 委 員 山 下 護

日 野 市 監 査 委 員 菅 原 直 志

**平成21年度日野市公営企業会計決算  
審査意見について**

地方公営企業法(昭和27年法律第292号)第30条第2項の規定に基づき、  
審査に付された平成21年度日野市立病院事業会計決算報告書、財務諸表及び関  
係証書類について審査した結果、次のとおり意見を付します。

# 目 次

第 1	審査の概要	1
1	審査の対象	1
2	審査の期間	1
3	審査の手続	1
第 2	審査の結果	2
1	決算諸表について	2
2	経営状況について	2
(1)	収益的収入及び支出について	2
(2)	経営成績について	6
(3)	薬品及び貯蔵品について	1 2
3	資本的収入及び支出について	1 3
(1)	資本的収支状況について	1 3
(2)	建設改良工事について	1 4
(3)	有形固定資産の購入状況について	1 4
4	財政状況について	1 5
第 3	意見・要望等	2 0
参考		2 3

## 注 記

イ 文中に用いる金額は原則として千円単位で表示し、単位未満を四捨五入した。  
そのため、合計等と符合しない場合がある。

ロ 比率(%)は、原則として小数点以下第2位を四捨五入した。

ハ 構成比については、内訳の計が100.0%とならない場合がある。

# 平成 2 1 年度日野市公営企業会計決算 審 査 意 見 書

## 第 1 審査の概要

### 1 審査の対象

平成 2 1 年度日野市立病院事業会計決算

### 2 審査の期間

平成 2 2 年 6 月 4 日から平成 2 2 年 8 月 1 1 日まで

### 3 審査の手続

この審査にあたっては、市長から審査に付された決算関係書類が、公営企業の経営成績及び財政状態を適正に表示しているかどうかを検証するため、諸会計帳票及び証書類との照合等、通常実施すべき手続により審査した。

なお、事業が経済性及び公共性の特質を生かしているかどうかを主眼として考察した。

## 第2 審査の結果

### 1 決算諸表について

審査に付された決算諸表は、地方公営企業法及び関係法令に準拠して作成され、病院事業の経営成績及び財政状態を概ね適正に表示しているものと認められた。

### 2 経営状況について

#### (1) 収益的収入及び支出について

##### ア 収入 (表1)

◎病院事業収益は、66億9,122万2千円で前年度61億265万4千円と比べ、5億8,856万8千円(9.6%)の増加となっている。

<対予算収入率90.5%>

○医業収益は、57億1,695万円で前年度48億7,232万1千円と比べ、8億4,462万9千円(17.3%)の増加となっている。

<対予算収入率89.0%>

・内訳は、入院収益34億8,815万1千円で前年度27億7,713万1千円と比べ、7億1,102万円(25.6%)の増加、外来収益20億2,822万8千円で前年度19億2,371万7千円と比べ、1億451万1千円(5.4%)の増加、その他医業収益2億57万1千円で前年度1億7,147万4千円と比べ、2,909万7千円(17.0%)の増加となっている。

○医業外収益は、9億6,372万8千円で前年度12億1,758万円と比べ、2億5,385万2千円(20.8%)の減少となっている。

<対予算収入率100.0%>

・主なものは、国庫補助金286万5千円で前年度382万3千円と比べ95万8千円(25.1%)の減少、都補助金3億4,971万3千円で前年度3億6,280万5千円と比べ、1,309万2千円(3.6%)の減少、負担金交付金5億1,315万2千円で前年度5億8,912万円と比べ、7,596万8千円(12.9%)の減少、その他医業外収益7,719万6千円で前年度6,385万8千円と比べ、1,333万8千円(20.9%)の増加、他会計補助金2,065万6千円で前年度1億9,750万円と比べ、1億7,684万4千円(89.5%)の減少となっている。

○特別利益は、1,054万4千円で前年度1,275万2千円と比べ、220万8千円(17.3%)の減少となっている。

<対予算収入率210.9%>

表 1

## 病院事業収益年度比較表

(単位：円：%)

科目	平成21年度		平成20年度		差引増減 (A) - (B)	対20年度 増減率
	(A)	構成 比率	(B)	構成 比率		
病院事業収益	6,691,221,680	100.0	6,102,654,131	100.0	588,567,549	9.6
医業収益	5,716,950,036	85.4	4,872,321,391	79.8	844,628,645	17.3
入院収益	3,488,151,064	52.1	2,777,130,518	45.5	711,020,546	25.6
外来収益	2,028,228,149	30.3	1,923,716,589	31.5	104,511,560	5.4
その他 医業収益	200,570,823	3.0	171,474,284	2.8	29,096,539	17.0
医業外収益	963,727,864	14.4	1,217,580,404	20.0	△253,852,540	△20.8
受取利息 及び配当金	145,984	0.0	474,524	0.0	△328,540	△69.2
国庫補助金	2,865,000	0.0	3,823,000	0.1	△958,000	△25.1
都補助金	349,712,972	5.2	362,805,000	5.9	△13,092,028	△3.6
負担金 交付金	513,152,000	7.7	589,120,000	9.7	△75,968,000	△12.9
その他 医業外収益	77,195,908	1.2	63,857,880	1.0	13,338,028	20.9
他会計 補助金	20,656,000	0.3	197,500,000	3.2	△176,844,000	△89.5
特別利益	10,543,780	0.2	12,752,336	0.2	△2,208,556	△17.3
過年度 損益修正益	10,543,780	0.2	9,450,589	0.2	1,093,191	11.6
その他 特別利益	0	0.0	3,301,747	0.1	△3,301,747	皆減

イ 支 出 (表2)

◎病院事業費用は、72億114万9千円で前年度68億9,714万3千円と比べ、3億400万6千円(4.4%)の増加となっている。

<対予算執行率97.4%>

○医業費用は、69億9,868万5千円で前年度66億6,114万3千円と比べ、3億3,754万2千円(5.1%)の増加となっている。

<対予算執行率97.4%>

- ・主なものは、給与費32億9,091万1千円で前年度30億6,012万3千円と比べ、2億3,078万8千円(7.5%)の増加、材料費17億3,820万9千円で前年度15億8,183万2千円と比べ、1億5,637万7千円(9.9%)の増加、経費14億8,152万5千円で前年度14億4,063万9千円と比べ、4,088万6千円(2.8%)の増加、減価償却費4億7,079万8千円で前年度5億5,842万2千円と比べ、8,762万4千円(15.7%)の減少となっている。

○医業外費用は、2億103万6千円で前年度2億2,790万6千円と比べ、2,687万円(11.8%)の減少となっている。

<対予算執行率98.9%>

- ・主なものは、支払利息1億9,360万1千円で前年度2億15万9千円と比べ、655万8千円(3.3%)の減少、電波障害維持管理費0円で前年度2,200万円と比べ、皆減となっている。

○特別損失は、142万8千円で前年度809万4千円と比べ、666万6千円(82.4%)の減少となっている。

<対予算執行率28.6%>

- ・特別損失の内訳は、過年度損益修正損142万8千円で前年度479万2千円と比べ、336万4千円(70.2%)の減少、特別損失0円で前年度330万2千円と比べ、皆減となっている。

表 2

## 病院事業費用年度比較表

(単位：円：％)

科目	平成 2 1 年度		平成 2 0 年度		差引増減 (A) - (B)	対20年度 増減率
	(A)	構成 比率	(B)	構成 比率		
病院事業費用	7,201,149,083	100.0	6,897,142,635	100.0	304,006,448	4.4
医業費用	6,998,684,600	97.2	6,661,143,415	96.6	337,541,185	5.1
給与費	3,290,911,044	45.7	3,060,122,962	44.4	230,788,082	7.5
材料費	1,738,208,819	24.1	1,581,832,163	22.9	156,376,656	9.9
経費	1,481,524,706	20.6	1,440,638,600	20.9	40,886,106	2.8
減価償却費	470,797,622	6.5	558,422,489	8.1	△87,624,867	△15.7
資産減耗費	1,578,331	0.0	2,867,404	0.0	△1,289,073	△45.0
研究研修費	15,664,078	0.2	17,259,797	0.3	△1,595,719	△9.2
医業外費用	201,036,190	2.8	227,905,602	3.3	△26,869,412	△11.8
支払利息	193,600,990	2.7	200,159,002	2.9	△6,558,012	△3.3
繰延勘定 償却	0	0.0	0	0.0	0	0.0
電波障害 維持管理費	0	0.0	22,000,000	0.3	△22,000,000	皆減
消費税及び 地方消費税	7,435,200	0.1	5,746,600	0.1	1,688,600	29.4
特別損失	1,428,293	0.0	8,093,618	0.1	△6,665,325	△82.4
過年度 損益修正損	1,428,293	0.0	4,791,871	0.1	△3,363,578	△70.2
その他 特別損失	0	0.0	3,301,747	0.0	△3,301,747	皆減

ウ 診療報酬の請求と審査減の状況は、表3に示すとおりである。

病院事業収益の中心は診療報酬であり、診療機関が保険者（社会保険診療報酬支払基金等）に請求し、審査委員会の審査を経て収入されるものであるが、審査委員会の査定により減点されることがある。なお、審査減については、見直し後再請求している。

表 3

年度別診療報酬請求と審査減の状況

入 院

区 分		平成21年度	平成20年度	平成19年度
請 求	件 数	8,033	6,370	7,360
	点 数	350,630,497	281,820,955	302,811,749
審 査 減	件 数	536	1,527	2,694
	点 数	507,926	919,698	1,735,168
請求に対する 審査減の割合(%)	件 数	6.7	24.0	36.6
	点 数	0.1	0.3	0.6

外 来

区 分		平成21年度	平成20年度	平成19年度
請 求	件 数	146,885	134,360	150,348
	点 数	202,182,774	191,222,275	206,696,363
審 査 減	件 数	1,733	1,765	3,904
	点 数	416,051	359,653	737,682
請求に対する 審査減の割合(%)	件 数	1.2	1.3	2.6
	点 数	0.2	0.2	0.4

(2) 経営成績について

ア 比較損益計算書（税抜き）は、表4に示すとおりである。

- ・ 医業損失は、11億4,198万5千円で前年度16億5,443万4千円と比べ、5億1,244万9千円（31.0%）の減少となっている。
- ・ 経常損失は、5億1,904万3千円で前年度7億9,914万7千円と比べ、2億8,010万4千円（35.1%）の減少となっている。
- ・ 当年度純損失は、5億992万7千円で前年度7億9,448万9千円と比べ、2億8,456万2千円（35.8%）の減少となっている。



表 4

## 比較損益計算書

(単位：円：%)

科 目	平成 2 1 年度			平成 2 0 年度		平成 1 9 年度
	金 額	対前年度差引額	対前年度 増減率	金 額	対前年度 増減率	金 額
医業収益 (A)	5,705,616,393	843,060,242	17.3	4,862,556,151	△9.0	5,341,661,089
入院収益	3,487,480,359	710,924,445	25.6	2,776,555,914	△8.7	3,039,871,194
外来収益	2,026,972,687	104,448,485	5.4	1,922,524,202	△7.9	2,088,304,674
その他医業収益	191,163,347	27,687,312	16.9	163,476,035	△23.4	213,485,221
医業費用 (B)	6,847,601,067	330,611,176	5.1	6,516,989,891	△0.9	6,573,976,790
給与費	3,289,782,970	230,577,126	7.5	3,059,205,844	3.8	2,947,357,416
材料費	1,655,438,836	148,932,013	9.9	1,506,506,823	△7.7	1,632,185,803
経費	1,415,064,970	41,534,805	3.0	1,373,530,165	3.7	1,323,892,815
減価償却費	470,797,622	△87,624,867	△15.7	558,422,489	△14.3	651,283,890
資産減耗費	1,578,331	△1,289,073	△45.0	2,867,404	57.0	1,826,105
研究研修費	14,938,338	△1,518,828	△9.2	16,457,166	△5.6	17,430,761
医業損益 (C)=(A)-(B)	△1,141,984,674	512,449,066	△31.0	△1,654,433,740	34.3	△1,232,315,701
医業外収益 (D)	960,765,426	△254,350,050	△20.9	1,215,115,476	37.1	886,045,773
受取利息及び配当金	145,984	△328,540	△69.2	474,524	△27.0	649,782
国庫補助金	2,865,000	△958,000	△25.1	3,823,000	△3.5	3,963,000
都補助金	349,712,972	△13,092,028	△3.6	362,805,000	0.9	359,478,000
負担金交付金	513,152,000	△75,968,000	△12.9	589,120,000	28.0	460,145,000
その他医業外収益	74,233,470	12,840,518	20.9	61,392,952	△0.7	61,809,991
他会計補助金	20,656,000	△176,844,000	△89.5	197,500,000	皆増	0
医業外費用 (E)	337,823,642	△22,005,316	△6.1	359,828,958	△4.2	375,710,059
支払利息	193,600,990	△6,558,012	△3.3	200,159,002	△2.1	204,485,434
繰延勘定償却	0	0	0.0	0	皆減	21,410,404
電波障害維持管理費	0	△20,952,381	皆減	20,952,381	206.3	6,840,000
消費税	7,435,200	1,688,600	29.4	5,746,600	△24.6	7,624,200
雑損失	136,787,452	3,816,477	2.9	132,970,975	△1.8	135,350,021
医業外損益 (F)=(D)-(E)	622,941,784	△232,344,734	△27.2	855,286,518	67.6	510,335,714
経常損益 (G)=(C)+(F)	△519,042,890	280,104,332	△35.1	△799,147,222	10.7	△721,979,987
特別利益 (H)	10,543,780	△2,208,556	△17.3	12,752,336	△88.5	110,732,987
過年度損益修正益	10,543,780	1,093,191	11.6	9,450,589	△69.2	30,732,987
特別利益	0	△3,301,747	皆減	3,301,747	△95.9	80,000,000
特別損失 (I)	1,428,293	△6,665,325	△82.4	8,093,618	△90.2	83,001,644
過年度損益修正損	1,428,293	△3,363,578	△70.2	4,791,871	59.6	3,001,644
特別損失	0	△3,301,747	皆減	3,301,747	△95.9	80,000,000
特別損益 (J)=(H)-(I)	9,115,487	4,456,769	95.7	4,658,718	△83.2	27,731,343
当年度純損益 (K)=(G)+(J)	△509,927,403	284,561,101	△35.8	△794,488,504	14.4	△694,248,644
前年度繰越利益剰余金	△5,890,171,973	△794,488,504	15.6	△5,095,683,469	15.8	△4,401,434,825
当年度未処理欠損金	6,400,099,376	509,927,403	8.7	5,890,171,973	15.6	5,095,683,469

イ 病院利用状況は、表5に示すとおりである。

表5

病院利用状況等年度比較表

区 分		平成21年度	平成20年度	平成19年度	対20年度 増減率 (ポイント)	備 考		
病 床 数		床 300	床 300	床 300	0.0			
病 床 利 用 率		% 74.9	% 63.0	% 67.1	11.9	$\frac{\text{年延入院患者数}}{\text{年延病床数}} \times 100$		
患 者 数	入 院	年 間	人 82,048	人 68,954	人 73,643	19.0	年延入院患者数	
		一 日 平 均	人 224.8	人 188.9	人 201.2	19.0	$\frac{\text{年延入院患者数}}{\text{入院診療日数}}$	
	外 来	年 間	人 199,987	人 188,674	人 208,128	6.0	年延外来患者数	
		一 日 平 均	人 826.4	人 776.4	人 849.5	6.4	$\frac{\text{年延外来患者数}}{\text{外来診療日数}}$	
	合 計	年 間	人 282,035	人 257,628	人 281,771	9.5	年延入院＋外来患者数	
		一 日 平 均	人 1,051.2	人 965.3	人 1,050.7	8.9	$\frac{\text{年延入院患者数}}{\text{入院診療日数}} + \frac{\text{年延外来患者数}}{\text{外来診療日数}}$	
	外 来 ・ 入 院 患 者 率		% 243.7	% 273.6	% 282.6	△29.9	$\frac{\text{年延外来患者数}}{\text{年延入院患者数}} \times 100$	
	職 員 一 人 当 たり 患 者 数	医 師	入 院	人 5.5	人 5.4	人 6.0	1.9	$\frac{\text{年延入院患者数}}{\text{年延医師数}}$
			外 来	人 13.5	人 14.8	人 17.1	△8.8	$\frac{\text{年延外来患者数}}{\text{年延医師数}}$
		看 護 部 門 職 員	入 院	人 1.1	人 1.0	人 1.1	10.0	$\frac{\text{年延入院患者数}}{\text{年延看護部門職員数}}$
外 来			人 2.8	人 2.7	人 3.1	3.7	$\frac{\text{年延外来患者数}}{\text{年延看護部門職員数}}$	
対 医 業 収 益 比	材 料 費	薬 品 費	% 18.2	% 21.3	% 20.9	△3.1	$\frac{\text{薬品費}}{\text{医業収益}} \times 100$	
		診 療 材 料 費	% 11.2	% 10.2	% 10.1	1.0	$\frac{\text{診療材料費}}{\text{医業収益}} \times 100$	
		そ の 他 医 療 材 料 費	% 1.0	% 1.0	% 0.9	0.0	$\frac{\text{その他医療材料費}}{\text{医業収益}} \times 100$	
		合 計	% 30.4	% 32.5	% 32.0	△2.1	$\frac{\text{医療材料費}}{\text{医業収益}} \times 100$	
	給 与 費	% 57.6	% 62.8	% 55.1	△5.2	$\frac{\text{給与費}}{\text{医業収益}} \times 100$		

ウ 診療科別利用状況は、入院(表6)、外来(表7)に示すとおりである。

表6

診療科別利用状況年度比較表

入院

(単位：人：％：点)

科別	区分	平成21年度				平成20年度				対20年度 延患者数 増減率
		延患者数	構成比率	収入点数	構成比率	延患者数	構成比率	収入点数	構成比率	
内	科	24,525	29.9	84,576,997.5	24.2	21,332	30.9	67,454,933.4	24.3	15.0
循	環器科	9,147	11.1	50,865,252.4	14.6	3,365	4.9	21,423,653.4	7.7	171.8
小	児科	3,362	4.1	13,063,544.3	3.7	303	0.4	1,338,522.7	0.5	1,009.6
外	科	14,212	17.3	67,755,587.6	19.4	16,098	23.3	74,764,652.9	26.9	△ 11.7
整	形外科	17,666	21.5	76,126,277.0	21.8	17,039	24.7	67,004,809.7	24.1	3.7
脳	神経外科	0	0.0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
皮	膚科	913	1.1	3,265,134.0	0.9	944	1.4	3,498,933.3	1.3	△ 3.3
泌	尿器科	3,357	4.1	12,923,451.7	3.7	2,791	4.0	11,220,261.1	4.0	20.3
産	婦人科	4,517	5.5	19,310,094.7	5.5	2,247	3.3	9,019,692.5	3.2	101.0
眼	科	1,140	1.4	6,368,579.1	1.8	1,438	2.1	7,326,391.8	2.6	△ 20.7
耳	鼻咽喉科	2,344	2.9	11,169,946.6	3.2	2,093	3.0	10,718,193.6	3.9	12.0
歯	科口腔外科	306	0.4	1,329,679.7	0.4	418	0.6	1,659,629.9	0.6	△ 26.8
放	射線科	0	0.0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
麻	酔科	559	0.7	2,060,561.8	0.6	886	1.3	2,283,377.5	0.8	△ 36.9
合	計	82,048	100.0	348,815,106.4	100.0	68,954	100.0	277,713,051.8	100.0	19.0

表7

## 診療科別利用状況年度比較表

外 来

(単位：人：％：点)

科 別	区 分	平 成21年度				平 成20年度				対20年度 延患者数 増減率
		延患者数	構成比 率	収入点数	構成比 率	延患者数	構成比 率	収入点数	構成比 率	
内 科 (透 析 含 む )		44,550	22.3	71,368,166.1	35.2	45,713	24.2	64,873,363.3	33.7	△ 2.5
循 環 器 科		10,240	5.1	11,550,797.4	5.7	6,687	3.5	7,899,448.9	4.1	53.1
小 児 科		9,027	4.5	6,970,704.1	3.4	3,732	2.0	3,145,648.9	1.6	141.9
外 科		16,275	8.1	33,146,792.2	16.3	19,236	10.2	36,764,881.4	19.1	△ 15.4
整 形 外 科		31,545	15.8	19,198,701.6	9.5	29,807	15.8	19,428,715.1	10.1	5.8
脳 神 経 外 科		3,778	1.9	3,687,209.6	1.8	4,080	2.2	4,103,150.8	2.1	△ 7.4
皮 膚 科		13,381	6.7	5,270,727.5	2.6	13,261	7.0	5,731,490.5	3.0	0.9
泌 尿 器 科		15,145	7.6	15,470,820.8	7.6	15,006	8.0	16,289,833.6	8.5	0.9
産 婦 人 科		13,229	6.6	9,486,156.1	4.7	10,024	5.3	7,624,501.9	4.0	32.0
眼 科		9,186	4.6	5,964,499.2	2.9	9,440	5.0	6,499,076.6	3.4	△ 2.7
耳 鼻 咽 喉 科		15,323	7.7	9,785,088.3	4.8	15,132	8.0	9,492,180.8	4.9	1.3
精 神 科		3,532	1.8	1,964,711.1	1.0	3,112	1.6	1,797,617.3	0.9	13.5
歯 科 口 腔 外 科		6,799	3.4	3,908,263.2	1.9	6,129	3.2	3,552,036.4	1.8	10.9
リハビリテーション科		2,810	1.4	1,195,847.7	0.6	2,861	1.5	1,122,185.0	0.6	△ 1.8
放 射 線 科		438	0.2	1,173,249.4	0.6	512	0.3	1,335,412.2	0.7	△ 14.5
麻 酔 科		4,729	2.4	2,681,080.6	1.3	3,942	2.1	2,712,116.2	1.4	20.0
合 計		199,987	100.0	202,822,814.9	100.0	188,674	100.0	192,371,658.9	100.0	6.0

エ 職員配置状況は、表 8 に示すとおりである。

表 8

職員配置状況年度末比較表

(単位：人)

区分 \ 年度	平成 21 年度	平成 20 年度	平成 19 年度	対 20 年度 差引増減
医 師	40	37	34	3
看 護 職 員	197	193	182	4
医 療 技 術 職 員	41	37	37	4
事 務 職 員	21	21	20	0
そ の 他 の 職 員	1	1	1	0
合 計	300	289	274	11

- ・当年度末職員総数は、300人で前年度末289人と比べ、11人（3.8％）の増加となっている。
  - ・当年度末医師数は、40人で前年度末37人と比べ、3人（8.1％）の増加となっている。
  - ・当年度末看護職員数は、197人で前年度末193人と比べ、4人（2.1％）の増加となっている。
  - ・当年度末医療技術職員数は、41人で前年度末37人と比べ、4人（10.8％）の増加となっている。
  - ・当年度末事務職員は、21人で前年度末と同数である。その他の職員は、1人で前年度末と同数である。
- ・ 看 護 職 員 : 助産師、看護師、准看護師  
 医 療 技 術 職 員 : 薬剤師、診療放射線技師、臨床検査技師、理学療法士、作業療法士、臨床工学技士、栄養士  
 そ の 他 の 職 員 : 用務員

(3) 薬品及び貯蔵品について

ア 薬品使用効率の年度比較は、次表9に示すとおりである。

- ・薬品使用効率は、78.4%で前年度102.9%と比べ、24.5ポイントの減少となっている。
- ・投薬薬品使用効率は、97.7%で前年度106.3%と比べ、8.6ポイントの減少となっている。
- ・注射薬品使用効率は、65.5%で前年度100.6%と比べ、35.1ポイントの減少となっている。

表9

薬品使用効率年度比較表

(単位：%)

区 分 \ 年 度	平成21年度	平成20年度	平成19年度	備 考
薬品使用効率	78.4	102.9	105.4	$\frac{\text{投薬注射薬品収入}}{\text{投薬注射薬品費}} \times 100$
投薬薬品使用効率	97.7	106.3	106.8	$\frac{\text{投薬薬品収入}}{\text{投薬薬品費}} \times 100$
注射薬品使用効率	65.5	100.6	104.4	$\frac{\text{注射薬品収入}}{\text{注射薬品費}} \times 100$

イ 薬品の管理について

薬品の管理は、入庫から出庫まで薬品管理システムで記録し事務の迅速化が図られ、毒薬、劇薬等は薬事法に基づき普通薬品と明確に区別して保管されており、良好な管理下にあるものと認められた。

ウ 貯蔵品額等の年度比較は次のとおりである。

- ・貯蔵品額は、1億1,110万1千円で前年度1億1,094万5千円と比べ、15万6千円(0.1%)の増加となっている。

主なものは、薬品6,033万4千円で前年度6,002万5千円と比べ、30万9千円(0.5%)の増加となっている。診療材料費4,864万9千円で前年度4,804万1千円と比べ、60万8千円(1.3%)の増加となっている。

- ・資産減耗費のうち棚卸資産減耗費は、83万6千円で前年度177万円と比べ、93万4千円(52.8%)の減少となっている。

### 3 資本的収入及び支出について

#### (1) 資本的収支状況について

ア 資本的収支状況は、表10に示すとおりである。

- ・資本的収入は、9億5,514万円で前年度3億6,272万5千円と比べ、5億9,241万5千円（163.3%）の増加となっている。

〈対予算収入率100.0%〉

- ・資本的支出は、4億4,879万9千円で前年度3億5,832万4千円と比べ、9,047万5千円（25.2%）の増加となっている。

〈対予算執行率97.7%〉

イ 資本的収入を項別にみると、次のとおりである。

- ・都補助金は、6,850万8千円で前年度6,719万2千円と比べ、131万6千円（2.0%）の増加となっている。
- ・出資金は、1億9,655万6千円で前年度1億9,287万円と比べ、368万6千円（1.9%）の増加となっている。
- ・寄附金は、13万円で前年度6万円と比べ、7万円（116.7%）の増加となっている。
- ・他会計補助金は、8,990万円で前年度1億250万円と比べ、1,260万円（12.3%）の減少となっている。
- ・新たに他会計からの長期借入金6億円が借入された。

ウ 資本的支出を項別にみると、次のとおりである。

- ・建設改良費は、9,318万7千円で前年度1,591万3千円と比べ、7,727万4千円（485.6%）の増加となっている。
- ・企業債償還金は、3億4,834万2千円で前年度3億4,149万8千円と比べ、684万4千円（2.0%）の増加となっている。
- ・基金積立金は、17万6千円で前年度16万3千円と比べ、1万3千円（8.0%）の増加となっている。

表 1 0

## 資本的収支状況年度比較表

(単位：円：%)

科目	区分	平成21年度		平成20年度		差引増減 (A) - (B)	対20年度 増減率
		(A)	構成 比率	(B)	構成 比率		
収 入	資本的収入	955,140,002	100.0	362,725,194	100.0	592,414,808	163.3
	都補助金	68,507,910	7.2	67,192,000	18.5	1,315,910	2.0
	出資金	196,556,000	20.6	192,870,000	53.2	3,686,000	1.9
	寄附金	130,000	0.0	60,000	0.0	70,000	116.7
	基金積立金 利息	46,092	0.0	103,194	0.0	△ 57,102	△ 55.3
	他会計 補助金	89,900,000	9.4	102,500,000	28.3	△ 12,600,000	△ 12.3
	他会計からの 長期借入金	600,000,000	62.8	0	0.0	600,000,000	皆増
支 出	資本的支出	448,798,665	100.0	358,324,109	100.0	90,474,556	25.2
	建設改良費	93,186,604	20.8	15,912,582	4.4	77,274,022	485.6
	助産師、看 護師貸付金	7,094,000	1.6	750,000	0.2	6,344,000	845.9
	企業債 償還金	348,341,969	77.6	341,498,333	95.3	6,843,636	2.0
	基金積立金	176,092	0.0	163,194	0.0	12,898	7.9

エ 企業債償還状況は、表 1 1 に示すとおりである。

表 1 1

## 企業債償還状況

(単位：円)

発行総額	償還額		平成20年度末 現在高
	当年度償還額	償還額累計	
10,419,000,000	348,341,969	1,187,640,693	9,231,359,307

(2) 建設改良工事について

当年度建設改良工事はなかった。

(3) 有形固定資産の購入状況について

有形固定資産購入状況は、表 1 2 に示すとおりである。

医療器械等購入費は、9,318万7千円で前年度1,591万3千円と比べ、7,727万4千円(485.6%)の増加となっている。



表 1 2

## 有形固定資産購入状況表（1機100万円以上）

品名	数量	メーカー・規格	購入額 (円)	設置場所	納入年月日
コルポスコープ (デジタルカメラセット付)	1	オリンパス OCS-500D	1,312,500	産婦人科 外来	H21.7.31
ダイオニクス25選流 システム	1	スミスアンドネフュー 72200207	1,197,000	手術室	H21.8.31
搬送用保育器	1	アトムメディカル V-707	1,251,600	4階東病棟	H21.9.30
血液ガス分析装置 (プリンター付)	2	シーメンス 129891	2,268,000	救急室 手術室	H21.10.16
重心動揺計	1	アニマ G-620	3,465,000	耳鼻咽喉科 外来	H21.11.30
超音波白内障手術装置	1	日本アルコン インフィニティ	12,999,000	手術室	H21.12.4
経皮的循環補助システム キャピオックスEBS装置	1	テルモ SP-101	6,163,500	血管撮影室	H21.12.7
全身麻酔器	1	ドレーゲルメディカル Fabius タイロ	4,179,000	手術室	H21.12.16
超音波診断装置	1	GEヘルスケアジャパン VividE9	17,850,000	超音波検査室	H21.12.17
超音波診断装置	1	GEヘルスケアジャパン LOGIQP5	3,150,000	救急室	H21.12.17
保育器	1	アトムメディカル V-2100G	2,047,500	新生児室	H22.1.13
血液ガス分析装置	1	扶桑薬品 アイスタット1-N	1,144,500	小児科	H22.1.18
生体情報モニタ	1	GEヘルスケアジャパン DASH5000	3,832,500	手術室	H22.1.27
心電計	1	フクダ電子 FCP-7541	1,500,000	5階西病棟	H22.2.24
輸血管理システム	1	オーソ BTD5	1,429,407	検査科	H22.3.31
病理システム	1	富士通 Dr.ヘルパー BeginS	19,687,500	病理検査室	H22.3.31

## 4 財政状況について

病院事業の財政状況は、表13に示すとおりである。

(1) 資産総額は、116億6,295万7千円で前年度118億7,872万9千円と比べ、2億1,577万2千円（1.8%）の減少となっている。

ア 固定資産は、104億9,093万8千円で前年度108億6,552万3千円と比べ、3億7,458万5千円（3.4%）の減少となっている。

(ア) 有形固定資産は、104億3,215万1千円で前年度108億1,400万5千円と比べ、3億8,185万4千円（3.5%）の減少となっている。内訳は、立木・建物・構築物は、前年度と同額である。器械備品は、32億9,181万5千円で前年度32億1,161万6千円と比べ、8,019万9千円（2.5%）の増加、車両は、0円で前年度328万8

千円と比べ、皆減となっている。なお、償却資産は、減価償却を行っている。

(イ) 無形固定資産は、10万2千円で前年度と同額である。

イ 流動資産は、11億7,201万9千円で前年度10億1,320万6千円と比べ、1億5,881万3千円(15.7%)の増加となっている。

(ア) 現金預金は、8,698万5千円で前年度8,926万5千円と比べ、228万円(2.6%)の減少となっている。

(イ) 未収金は、9億6,639万1千円で前年度8億784万5千円と比べ、1億5,854万6千円(19.6%)の増加となっている。

(ウ) 貯蔵品は、1億1,110万1千円で前年度1億1,094万5千円と比べ、15万6千円(0.1%)の増加となっている。

(エ) 前払金は、236万9千円で前年度73万7千円と比べ、163万2千円(221.4%)の増加となっている。

(オ) 保管有価証券は、0円で前年度と同一である。

(カ) その他流動資産は、517万3千円で前年度441万3千円と比べ、76万円(17.2%)の増加となっている。

ウ 繰延勘定は、0円で前年度と同一である。

(2) 負債総額は、12億453万2千円で前年度9億1,376万円と比べ、2億9,077万2千円(31.8%)の増加となっている。

ア 固定負債は、6億2,724万7千円で前年度628万8千円と比べ、6億2,095万9千円(9,875.3%)の増加となっている。

(ア) 退職給与引当金は、1万2千円で前年度と同額である。

(イ) 修繕引当金は、2,723万5千円で前年度627万5千円と比べ、2,096万円(334.0%)の増加となっている。

(ウ) 他会計借入金は、6億円で前年度と比べ、皆増となっている。

イ 流動負債は、5億7,728万5千円で前年度9億747万3千円と比べ、3億3,018万8千円（36.4%）の減少となっている。

(ア) 未払金は、5億7,127万1千円で前年度4億5,260万7千円と比べ、1億1,866万4千円（26.2%）の増加となっている。

(イ) 医業前受金は、470万円で前年度354万円と比べ、116万円（32.8%）の増加となっている。

(ウ) 預り有価証券は、0円で前年度と同一である。

(エ) その他流動負債は、131万4千円で前年度132万6千円と比べ、1万2千円（0.9%）の減少となっている。

(3) 資本総額は、104億5,842万5千円で前年度109億6,496万8千円と比べ、5億654万3千円（4.6%）の減少となっている。

ア 資本金は、150億5,659万9千円で前年度152億838万4千円と比べ、1億5,178万5千円（1.0%）の減少となっている。

(ア) 自己資本金は、58億2,523万9千円で前年度56億2,868万3千円と比べ、1億9,655万6千円（3.5%）の増加となっている。

(イ) 借入資本金は、92億3,135万9千円で前年度95億7,970万1千円と比べ、3億4,834万2千円（3.6%）の減少となっている。

イ 剰余金は、△45億9,817万4千円で前年度△42億4,341万6千円と比べ、3億5,475万8千円（8.4%）の減少となっている。

(ア) 資本剰余金は、18億192万6千円で前年度16億4,675万6千円と比べ、1億5,517万円（9.4%）の増加となっている。主なものは、国庫補助金2億929万7千円で前年度と同額、都補助金13億4,938万6千円で前年度12億8,429万3千円と比べ、6,509万3千円（5.1%）の増加、他会計補助金1億9,240万円で前年度1億250万円と比べ、8,990万円（87.7%）の増加となっている。

(イ) 欠損金は、64億9万9千円で前年度58億9,017万2千円と比べ、5億992万7千円（8.7%）の増加となっている。

表 1 3

## 比 較 貸 借

科 目		借 方								
		平成 2 1 年度				平成 2 0 年度			平成 1 9 年度	
		金 額	構 成 比	対前年度差引額	対前年度増減率	金 額	構 成 比	対前年度増減率	金 額	構 成 比
資 産 の 部	固 定 資 産	10,490,938,337	90.0	△374,584,315	△3.4	10,865,522,652	91.5	△4.8	11,408,216,294	91.1
	有形固定資産	10,432,150,682	89.4	△381,854,407	△3.5	10,814,005,089	91.0	△4.8	11,357,611,925	90.7
	土 地	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0
	立 木	34,986,000	0.3	0	0.0	34,986,000	0.3	0.0	34,986,000	0.3
	建 物	12,156,289,428	104.2	0	0.0	12,156,289,428	102.3	0.0	12,156,289,428	97.1
	構 築 物	113,258,350	1.0	0	0.0	113,258,350	1.0	0.0	113,258,350	0.9
	器 械 備 品	3,291,815,479	28.2	80,199,434	2.5	3,211,616,045	27.0	△0.2	3,216,539,403	25.7
	車 両	0	0.0	△3,288,133	皆減	3,288,133	0.0	0.0	3,288,133	0.0
	減価償却累計額	5,164,198,575	△44.3	458,765,708	9.7	4,705,432,867	△39.6	12.9	4,166,749,389	△33.3
	無形固定資産	101,508	0.0	0	0.0	101,508	0.0	0.0	101,508	0.0
	電話加入権	101,508	0.0	0	0.0	101,508	0.0	0.0	101,508	0.0
	投 資	58,686,147	0.5	7,270,092	14.1	51,416,055	0.4	1.8	50,502,861	0.4
	長期貸付金	7,844,000	0.1	7,094,000	945.9	750,000	0.0	皆増	0	0.0
	基 金	50,842,147	0.4	176,092	0.3	50,666,055	0.4	0.3	50,502,861	0.4
	流 動 資 産	1,172,019,013	10.0	158,813,101	15.7	1,013,205,912	8.5	△8.9	1,112,090,053	8.9
	現 金 預 金	86,985,265	0.7	△2,280,224	△2.6	89,265,489	0.8	62.9	54,808,656	0.4
	未 収 金	966,390,632	8.3	158,545,453	19.6	807,845,179	6.8	△15.0	950,102,957	7.6
	貯 蔵 品	111,101,096	1.0	155,919	0.1	110,945,177	0.9	6.3	104,323,440	0.8
	前 払 金	2,369,020	0.0	1,631,953	221.4	737,067	0.0	皆増	0	0.0
	保管有価証券	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0
その他流動資産	5,173,000	0.0	760,000	17.2	4,413,000	0.0	54.6	2,855,000	0.0	
繰 延 勘 定	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	
新病院建設費繰延勘	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	
資 産 合 計	11,662,957,350	100.0	△215,771,214	△1.8	11,878,728,564	100.0	△5.1	12,520,306,347	100.0	

# 対 照 表

(単位：円：％)

科 目		貸 方								
		平成21年度				平成20年度			平成19年度	
		金 額	構 成 比	対前年度差引額	対前年度増減率	金 額	構 成 比	対前年度増減率	金 額	構 成 比
負債の部	固定負債	627,247,014	5.4	620,959,439	9,876.0	6,287,575	0.1	△61.0	16,115,575	0.1
	退職給与引当金	12,312	0.0	0	0.0	12,312	0.0	0.0	12,312	0.0
	修繕引当金	27,234,702	0.2	20,959,439	334.0	6,275,263	0.1	△61.0	16,103,263	0.1
	他会計借入金	600,000,000	5.1	600,000,000	皆増	0	0.0	0.0	0	0.0
	流動負債	577,285,455	4.9	△330,187,058	△36.4	907,472,513	7.6	18.5	765,960,653	6.1
	一時借入金	0	0.0	△450,000,000	皆減	450,000,000	3.8	36.4	330,000,000	2.6
	未払金	571,271,455	4.9	118,664,942	26.2	452,606,513	3.8	5.3	429,663,653	3.4
	医業前受金	4,700,000	0.0	1,160,000	32.8	3,540,000	0.0	△26.4	4,810,000	0.0
	預り有価証券	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0
	その他流動負債	1,314,000	0.0	△12,000	△0.9	1,326,000	0.0	△10.8	1,487,000	0.0
負債合計	1,204,532,469	10.3	290,772,381	31.8	913,760,088	7.7	16.8	782,076,228	6.2	
資本の部	資本金	15,056,598,518	129.1	△151,785,969	△1.0	15,208,384,487	128.0	△1.0	15,357,012,820	122.7
	自己資本金	5,825,239,211	49.9	196,556,000	3.5	5,628,683,211	47.4	3.5	5,435,813,211	43.4
	借入資本金	9,231,359,307	79.2	△348,341,969	△3.6	9,579,701,276	80.6	△3.4	9,921,199,609	79.2
	企業債	9,231,359,307	79.2	△348,341,969	△3.6	9,579,701,276	80.6	△3.4	9,921,199,609	79.2
	剰余金	△4,598,173,637	△39.4	△354,757,626	8.4	△4,243,416,011	△35.7	17.3	△3,618,782,701	△28.9
	資本剰余金	1,801,925,739	15.4	155,169,777	9.4	1,646,755,962	13.9	11.5	1,476,900,768	11.8
	国庫補助金	209,297,237	1.8	0	0.0	209,297,237	1.8	0.0	209,297,237	1.7
	都補助金	1,349,386,355	11.6	65,093,685	5.1	1,284,292,670	10.8	5.5	1,217,100,670	9.7
	他会計補助金	192,400,000	1.6	89,900,000	87.7	102,500,000	0.9	皆増	0	0.0
	寄附金	50,661,475	0.4	130,000	0.3	50,531,475	0.4	0.1	50,471,475	0.4
	基金積立金利息	180,672	0.0	46,092	34.2	134,580	0.0	328.8	31,386	0.0
	欠損金	6,400,099,376	△54.9	509,927,403	8.7	5,890,171,973	△49.6	15.6	5,095,683,469	△40.7
	当年度未処理欠損金	6,400,099,376	△54.9	509,927,403	8.7	5,890,171,973	△49.6	15.6	5,095,683,469	△40.7
	資本合計	10,458,424,881	89.7	△506,543,595	△4.6	10,964,968,476	92.3	△6.6	11,738,230,119	93.8
負債資本合計	11,662,957,350	100.0	△215,771,214	△1.8	11,878,728,564	100.0	△5.1	12,520,306,347	100.0	

### 第3 意見・要望等

平成21年度市立病院事業会計決算における損益の状況は、平成21年2月に策定した「日野市立病院改革プラン（経営健全化計画）」に沿って経営改善及び意識改革に努めた結果、純損失額が5億992万7千円で、前年度7億9,448万9千円と比較すると2億8,456万2千円（35.8%）減少した。

病院利用状況は、入院患者数8万2,048人で、前年度比19.0%増加した。病床利用率は74.9%で、前年度比11.9ポイント増加した。外来患者数は19万9,987人で、前年度比6.0%増加した。

収益的収支の状況は、病院事業収益が66億9,122万2千円で、前年度比9.6%増加した。うち医業収益は57億1,695万円で、前年度比17.3%増加した。医業収益のうち、入院収益は34億8,815万1千円で、前年度比25.6%増加した。外来収益は20億2,822万8千円で、前年度比5.4%増加した。医業収益の増は病床利用率と外来患者数の増加及び入院患者1人当たり単価が増加したことによるものである。

病院事業費用は72億114万9千円で、前年度比4.4%増加した。うち医業費用は69億9,868万5千円で、前年度比5.1%増加した。医業費用の増は給与費が職員数の増加により7.5%、材料費が入院患者数の増加により9.9%、経費がインフルエンザ等対策のため、特別棟の借上げ等があり2.8%増加したことによるものである。

資本的収入及び支出の状況は、資本的収入が9億5,514万円で、前年度比163.3%増加した。今年度は一般会計から長期借入金として6億円を借り入れた。

資本的支出は4億4,879万9千円で前年度比25.2%増加した。うち有形固定資産購入費は9,318万7千円で、耐用年数が経過した医療機器の購入を行った。企業債償還金は3億4,834万2千円である。

平成21年度の市立病院の経営成績は、純損失額が前年度と比較して2億8,456万2千円（35.8%）減少し、経営改善が図られたが、依然として5億992万7千円の赤字決算になっている。また、平成21年度末未処理欠損金は

6 4 億 9 万 9 千円に増加した。

主な経営指標で前年度と「市立病院改革プラン」の目標数値との比較をしてみると、経常収支比率は92.8%で、前年度比4.4ポイントの増加であったが、目標値に比べると5.6ポイント下回った。

医業収支比率は87.0%で、前年度比7.4ポイントの増加であったが、目標値に比べると5.8ポイント下回った。

給与費対医業収益比率は45.5%で、前年度比3.1ポイントの減少であったが、目標値に比べると4.9ポイント上回った。

材料費対医業収益比率は27.8%で、前年度比1.2ポイントの減少であったが、目標値に比べると0.1ポイント上回った。

病床利用率は74.9%で、前年度比11.9ポイントの増加であったが、目標値に比べると6.6ポイント下回った。

医療を取り巻く環境が大きく変化する中で、公立病院の経営状況は極めて厳しい状況に置かれているが、地域の中核病院として、引き続き経営改善に取り組むとともに、良質な医療を継続して提供できる体制を構築することを期待する。また今後も職員の意識改革を進め、市立病院が市民から信頼され選ばれる病院となることを期待する。

次に、平成21年度の決算審査において3点の要望をする。

#### 1 経営指標のさらなる改善に向けて

経営改善及び意識改革に努めた結果、前年度に比較して改善しているが、さらに改善するために、収益については、病床利用率、患者紹介率の向上、及び請求漏れ等の防止を図る。費用については、薬品や診療材料の在庫管理の徹底を図るとともに、委託経費についても内容及び方法を十分に精査し、市立病院改革プランの目標値を達成していくよう全力で取り組んで頂きたい。

#### 2 会計基準について

平成22年度4月の事業報告書に計上されている医業収益は6,272万8千円（現金主義）であるが、実際の4月中の医業収益は4億8,369万2千円（発

生主義)である。この差額は社会保険診療報酬支払基金等からの支払いが2ヵ月後でなければ収益として計上されないからである。

4月中の稼働収益は4月中の成績として表示することにより、正しい期間損益計算を通じて正しい経営判断ができ、かつ、携わった職員の誇りにも通じるものと思慮されるので、現金主義会計から発生主義会計に変更することを検討して頂きたい。

### 3 棚卸方法について

薬品等の仕入れについては、正確に記帳されており問題はないが、期末棚卸高の評価については、実地棚卸方法を採用している。

これについて帳簿棚卸方法と併用して評価することにより、実際に治療のために消費したものと、治療以外(盗難等)で消費したものとを区別ができるし、薬品等の管理上有益と思われるので、内部で検討して頂きたい。

注：主な経営指標は「地方公営企業決算の状況」の数値を使用し、消費税額を含まないため、決算数値とは異なる。



参 考

収益的収入及び支出等の推移

(単位：円：％：ポイント)

年 度		平成21年度	平成20年度	平成19年度	対20年度増減比較			
					増減額	増減率	増減	
内 訳								
医業収益(A)		5,716,950,036	4,872,321,391	5,353,585,111	844,628,645	17.3	—	
内 訳	入院収益	3,488,151,064	2,777,130,518	3,040,624,589	711,020,546	25.6	—	
	外来収益	2,028,228,149	1,923,716,589	2,089,857,049	104,511,560	5.4	—	
	その他医業収益	200,570,823	171,474,284	223,103,473	29,096,539	17.0	—	
繰入金	一般会計 繰入金	負担金交付金	513,152,000	589,120,000	460,145,000	△ 75,968,000	△ 12.9	—
		補助金	20,656,000	197,500,000	0	△ 176,844,000	△ 89.5	—
	国庫補助金	2,865,000	3,823,000	3,963,000	△ 958,000	△ 25.1	—	
	都補助金	349,712,972	362,805,000	359,478,000	△ 13,092,028	△ 3.6	—	
	合計	886,385,972	1,153,248,000	823,586,000	△ 266,862,028	△ 23.1	—	
	医業費用(B)	6,998,684,600	6,661,143,415	6,723,824,254	337,541,185	5.1	—	
職員給与費(C)	3,290,911,044	3,060,122,962	2,950,333,175	230,788,082	7.5	—		
職員給与費対医業収益比率 C/A	57.6	62.8	55.1	—	—	△ 5.2		
病床利用率	74.9	63.0	67.1	—	—	11.9		
医業収支比率 A/B	81.7	73.1	79.6	—	—	8.6		